

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-092900
 (43)Date of publication of application : 31.03.2000

(51)Int.Cl. 0000 0/00

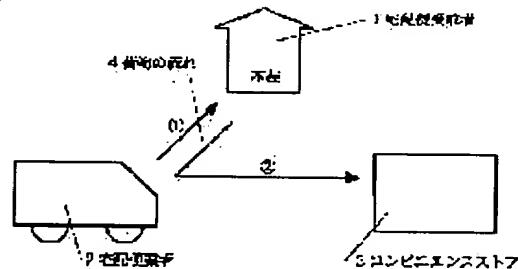
(21)Application number : 10-295991 (71)Applicant : UTSUGI HIROSHI
 (22)Date of filing : 10.09.1998 (72)Inventor : UTSUGI HIROSHI

(54) DELIVERY METHOD OF HOME DELIVERY SERVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce the carrying-back factor of the dealer of a home delivery service, by a convenience store receiving delivered goods instead of the actual receiver of them.

SOLUTION: A receiver 1 of a home delivery service indicates in the place of a bell, etc., his will that delivered goods may be deposited in a convenience store 3. A dealer 2 of the home delivery service delivers the delivered goods to the home of the receiver 1, and puts on the place of the bell, etc., an absence communication memo to the effect that the delivery goods are deposited in the convenience store 3 when the home having the indication is absent. The receiver 1 receives the delivered goods in the convenience store 3 after noticing the absence communication memo.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-92900

(P2000-92900A)

(43)公開日 平成12年3月31日 (2000.3.31)

(51)Int.Cl.
分類不能

識別記号

F I

マーク(参考)

審査請求 未請求 請求項の数1 表面 (全2頁)

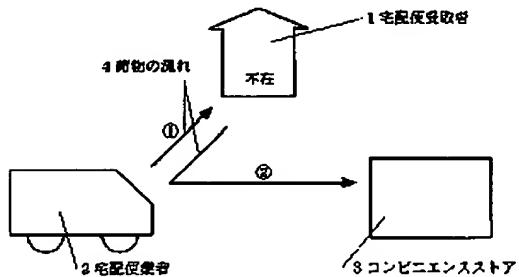
(21)出願番号 (22)出願日	特願平10-295991 平成10年9月10日 (1998.9.10)	(71)出願人 宇都木 洋 埼玉県浦和市庭手袋5丁目16番10号 東京 美装興業武藏浦和寮103号室 (72)発明者 宇都木 洋 埼玉県浦和市庭手袋5丁目16番10号 東京 美装興業武藏浦和寮103号室
---------------------	--	--

(54)【発明の名称】宅配便の配達方法

(57)【要約】

【目的】この発明は、コンビニエンスストアが受取代行を行う事によって、宅配業者の持ち帰り率を下げる事を主な目的とした宅配便配達方法である。

【構成】宅配便受取者(1)は不在の場合コンビニエンスストア(3)に荷物を預けても良いと言う意志を呼び鈴の所などに表示する。宅配便業者(2)は宅配便受取者(1)宅へ荷物を配達し、その表示の有る家庭が不在だった場合、コンビニエンスストア(3)に預けるという事を記載した不在連絡票を置き、そのようにする。宅配便受取者(1)は不在連絡票を見てコンビニエンスストア(3)で荷物を受け取る。



(2)

特開2000-92900

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンビニエンスストアにより受取代行を行う宅配便配達方法

【発明の詳細な説明】

この発明は、コンビニエンスストア(3)により受取代行を行う宅配便配達方法である。従来の宅配便は、不在の場合は受け取る亭が出来ず、再配達時に在宅していかなければならない。これを一部解決した日付や時間をあらかじめ指定できるサービスもあるが、特定の(あらかじめ相手と打ち合わせの出来る)荷物しか利用できない、また、やはり配達時に在宅していかなければならないという問題がある。更にそれを解決したのがこの発明である。実施例として、宅配便受取者(1)は、不在の場合はコンビニエンスストア(3)に荷物を預けても良いと言う意志を呼び鈴の所などに表示(または、宅配便業者(2)に登録等)する。宅配便業者(2)は、宅配便受取者(1)宅へ荷物を配達し、その表示(または、あらかじめ登録)の有る家庭が不在だった場合、コンビニエンスストア(3)に預けられた荷物を受取る。

*ンストア(3)に預けるという事を記載した不在連絡票を置き、そのようにする。宅配便受取者(1)は不在連絡票を見てコンビニエンスストア(3)で荷物を受け取る。等の方法が考えられる。現在、行われている宅配便のサービスに比べて、宅配便業者(2)にとっては、特定の顧客について待ち帰り率をほぼ0にする事が出来る為、再配達コストを削減できる。宅配便受取者(1)にとっては、単身者や留守がらの家庭でも全く自宅に居なくて良く、時間を有効に利用できる。また確実に当日に荷物を受け取る事が出来る。コンビニエンスストア(3)にとっては、集客力の増加。というメリットがある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例

【符号の説明】

1は宅配便受取者 2は宅配便業者 3はコンビニエンスストア 4は荷物の流れ

【図1】

